

[春薬柳] 実証記録				実施地	そらち森林組合 砂川管理地内			
育成総数	100本	現況数	84本	実施品目	春薬柳(広葉樹)	試験面積	170 m <sup>2</sup>	
試験開始	平成30年5月17日 (植付日)			調査日	平成30年8月7日		経過	82日目
前回調査	平成30年5月17日	直径	10cm	今回調査記録			直径	12cm
作業内容	苗木植付	高さ	0.6M	作業内容	忌避剤液の散布・育成調査	高さ	0.8M	



● 植付時の忌避剤散布→実施無



↑ 忌避剤液散布中  
育成木 H=80 cm→



↑ 鹿の糞  
● 鹿被害により中間新芽の食害



↑ 食害による被害

■ 育成状況

- ・ 前年11月の原木伐採後素地により、土壤温度・土の流れ等により生育状況は悪い。
- ・ 伐採による新設林道が鹿道となり、その植付木の同列が食害が発生。
- ・ 中間の葉を食べた後がある。10本程度の被害があった。
- ・ 中間立木の食被害にも関わらず「春薬柳」は順調に、その後も残木は成長している。
- ・ 雪解け後の植え付けにより、被害の有無調査の為、忌避剤散布せず春期育成を観察。
- ・ 全体の育林において鹿被害および、苗木枯れにより15%の減木。

植付場所→



■ 備考

- ・ 第1回目→忌避剤の散布→ヒトデ水溶液+ナノ水希釈液の散布開始  
※根本直接散布による